

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の推移】 ※…現地通貨ベース

		終値	9月29日比
インド	S&P・BSE500種指数	14,146.89	3.94%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,632.30	3.01%
パキスタン	カラチ 全株指数	28,697.22	-5.59%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	6,064.41	-0.47%

(出所：ブルームバーグ)

【為替(対円)の推移】

		終値	9月29日比
インド	インドルピー	1.7220	-0.12%
スリランカ	スリランカルピー	0.7273	-1.05%
パキスタン	パキスタンルピー	1.0610	-0.56%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3580	-0.67%

(出所：ブルームバーグ)

【インド：インド準備銀行(中央銀行)、政策金利を据え置き】

インド準備銀行は4日、金融政策決定会合を開き、政策金利を6%に据え置きました。原油価格の上昇によるインフレ懸念の高まりに対処するためとしています。これに呼応するように、2017年下期の消費者物価指数(CPI)上昇率見通しを+4.2~4.6%に引き上げています。一方、第1四半期の実質GDP成長率が低水準(前年比+5.7%)だったことや、物品サービス税の導入などによる景気減速を警戒し、2017年度の経済成長率(実質粗付加価値成長率)見通しを+6.7%と前回見通し(+7.3%)から引き下げました。ただ、第2四半期以降の経済は加速すると見込んでいます。最近の経済指標では、9月CPIが前年比+3.3%と前月からほぼ横ばい、鉱工業生産指数は2カ月連続で前年比上昇しており、インフレ率の落ち着きと企業の活発な生産活動が続けば、中銀の懸念も杞憂に終わる可能性があります。

【スリランカ：世銀は高成長を予想】

コロンボ全株指数は、海外からの資金流入により前月末比+3.01%と大幅に上昇しました。世界銀行発表の「南アジア経済フォーカス」によると、スリランカ経済は度重なる自然災害のダメージを受けているが、IMFからの融資とアドバイスにより財政は健全化に向かっており、2017年は4.6%、その後数年間は5.0%の経済成長が見込まれるとされました。なお、コロンボ証券取引所は、海外からの証券投資をより一層促進するため、今年中に外国人投資家向けの米ドル建て取引を開始すると発表しています。

【パキスタン：年初来安値更新】

カラチ全株指数は、政権運営の不透明感や経済の先行き悪化懸念から大幅に下落し、年初来最安値を更新する展開となりました。政府が株価対策を講じると地元紙が報じ、投資家の注目を集めているもようです。世界銀行発表の「南アジア経済フォーカス」では、政権運営の不確実性が構造改革に向けた取組みを遅らせ、民間投資を阻害する恐れがあると指摘されています。また、財政収支や貿易収支の悪化を懸念しているとも指摘されており、経済政策の早期の立て直しが必要な状況です。

【バングラデシュ：中央銀行、銀行の株式投資にメス】

ダッカ総合株価指数は、複数の銀行が投資規制違反によって中央銀行から処罰されたことを背景に軟調な展開となりました。同国の銀行法は株主資本の25%を株式に投資することを認めていますが、一部の銀行に当局への報告漏れや投資上限違反があったと明らかになりました。銀行株は昨今の株価上昇を牽引した存在だったため、今回の報道を受け一部の投資家からパニック的な売りが見られました。その一方で、割安になった銘柄を拾う動きもあり、値を崩す状況には至りませんでした。

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2016年6月1日～2017年10月13日、現地通貨ベース〕

(出所：ブルームバーグ)



—インド—

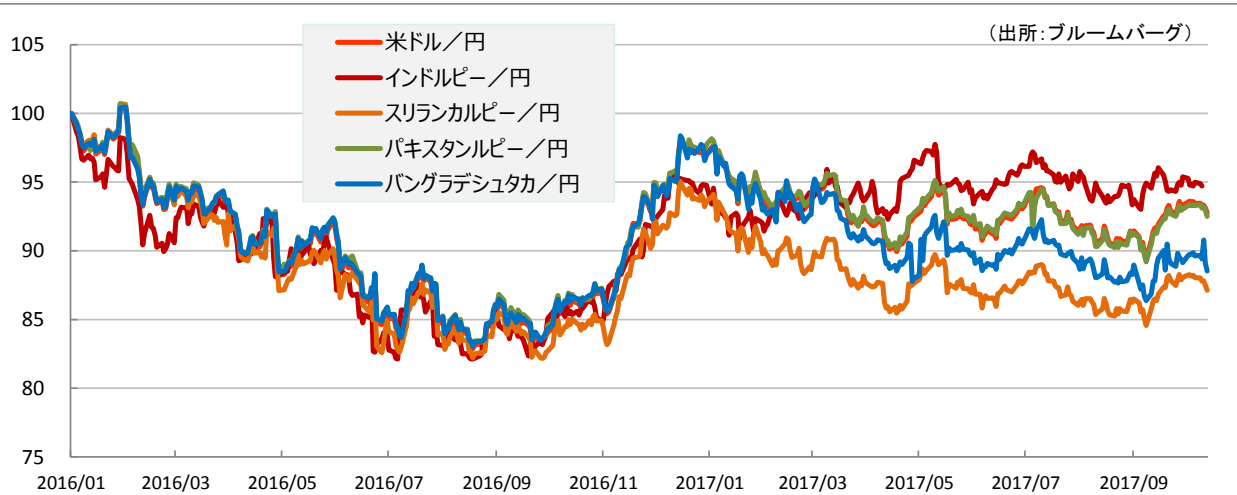
—スリランカー—

—パキスタン—

—バングラデシュ—

【為替の値動き】

〔期間：2016年1月1日(基準日)～2017年10月13日、基準日を100として指数化〕



当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

南アジア4カ国 マーケットレポート

投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.0412% (税抜き1.89%)
 - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
 - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用する公募の投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みにあたっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。